【平成 26 年度】

統計研修講義計画書

研修課程	東海・北陸地域 統計セミナー	講義ﾃｰﾏ	統計調査への協力意識を高めるための統計教育 「岐阜県データ活用講座」	講義時間	80 分
講　　師	大坪　辰也 岐阜県環境生活部統計課課長補佐				

講義時間は 10 分の質疑応答を含む

講義のねらい

〇調査環境の改善を目指した統計の普及啓発事業の参考事例として、岐阜県の出前授業「データ活用講座」の具体的な内容について解説する。特に、自分は教育委員会から派遣された教員であり、出前授業を受け入れる学校現場と、出前授業を数多くこなしてきた統計課担当者という双方の視点から、メリットや工夫した点など、現場の感想を交えながら紹介したい。

指導項目と内容

指 導 項 目	内　　容
１．学校現場への出前授業「データ活用講座」の概要解説	〇この事業の立ち上げの経緯について解説 〇講師の立場から、出前授業を受け入れる学校現場としてのメリット、統計課としてのメリットの双方を解説 〇具体的な事業の進め方の解説 ・学校現場への働きかけ　・教育委員会との連携　等 〇具体的な授業の事例紹介 ・楽しく学ぶことを第一に、工夫して授業を構成 ・実際の授業の様子、児童生徒の反応、現場教員の評価
２．学校現場の声を踏まえた教材開発	〇学校現場では、授業で使用した資料や、実際の統計データを用いた教材を提供してほしいとの声が強い。 〇こうした声を踏まえ、教材として整理しＨＰで提供。 〇学校現場で役立つ教材として、統計の普及啓発の資料として幅広く活用できるメリットがある。 ①中学数学「資料の整理と活用」に関する教材の紹介 ・簡易に代表値など基礎を学ぶ教材 →好きな食べ物の価格を調べる（小売物価統計調査） ・都道府県人口分布を題材に、代表値・ヒストグラム等用いて分析を進める教材 →「岐阜県の人口は全国で多い方か少ない方か」を調べる（国勢調査） ⇒県学習状況調査の素材ともされた教材 ②統計活用の実践例として、統計データからみたふるさとの特徴やじまん等を学ぶ教材の紹介 →県として、ふるさと教育にも役立つ教材

講義形態 指導方法	・パワーポイントを使用して解説
受講に必要な 基 礎 知 識 等	・特になし